

株式会社 亀山電機 代表取締役 北口 功幸
〒850-0046
長崎県長崎市幸町2番17号 梅村組ビル3F

TEL 095-832-4330 FAX 095-832-4331



【九州の国立大学で初！長崎大学の学生支援プログラム

「やってみゅーでスク」支援システムにおける Web 構築一式受注】のご報告

株式会社亀山電機（本社/長崎市幸町2番17号 梅村組ビル3F）は、平成20年1月に(*1)国立大学法人 長崎大学（長崎市/齋藤 寛 学長）から学生支援プログラム「やってみゅーでスク」支援システムにおける Web 構築一式を受注しました。

これは長崎大学が、文部科学省の(*2)大学改革推進事業「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」に申請し、「学生が自ら育む人間関係力醸成プログラム」が認定を受けたことにより、今年度から4年間このプログラムを実施していくことになり、その実施母体として「やってみゅーでスク」を(*3)開設しました。

弊社では、この学生支援プログラム「やってみゅーでスク」支援システムにおける Web 構築を受注し、今後技術的な面でサポートを行っていくことになりました。

「学生が自ら育む人間関係力醸成プログラム」では、「やってみゅーでスク」と呼ばれる組織の構成員が、個々の情報や地域の情報を検索し、「自立的活動支援」や「人間関係力(*4)醸成包括支援」に合った支援内容を見つけるためのシステムで、その他にも、(*5)ユビキタスに対応した Web システムを構築して、管理者（スタッフ）が登録された情報から本プログラム遂行に求められる人材を探すことができます。

このシステムは弊社が開発した「(*6)求人求職システム」（“独立行政法人 国立高等専門学校機構 (*7)国立佐世保工業高等専門学校”へ納入済み）のエンジンを応用し、「やってみゅーでスク」に適したマッチングシステムを制作するものです。今後も、マッチングシステムを応用し、雇用や教育に限らず、多岐に渡る分野で地域貢献して参ります。

(*1) 国立大学法人 長崎大学 （ <http://www.nagasaki-u.ac.jp/> ）

(*2) 大学改革推進事業（大学、短期大学及び高等専門学校において、大学等の長のリーダーシップの下に組織的に行われている教育改革を推進するもので、我が国の高等教育の活性化及び高度な人材養成に資することを目的としている）

(*3) 平成19年12月12日表札上掲式 （ <http://www.nagasaki-u.ac.jp/zaigaku/life/news/H19%20Yattemyu-desukusyasin.pdf> ）

(*4) 醸成（気分・状態などを作り出すこと）

(*5) ユビキタス（それが何であるかを意識させず（見えない）、しかも「いつでも、どこでも、だれでも」が恩恵を受けることができるインタフェースや環境、技術のこと）

(*6) 求人求職システム デモサイト （ <https://ilssl1.broad-kids.jp/jobmat/> ）

(*7) 国立佐世保高等専門学校 （ <http://www.sasebo.ac.jp/> ）

【ニュースリリースに関する問合せ先】

株式会社亀山電機 経営情報システム部
TEL：095-832-4330（代表）

www.kameyama-grp.co.jp

本 社 / 〒850-0046 長崎県長崎市幸町2番17号 梅村組ビル3F T: 095-832-4330 F: 095-832-4331
東京営業所 / 〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目10番2号 長崎県東京産業支援センター T: 03-3353-0554 F: 03-3353-0554
佐世保事業所 / 〒857-0877 長崎県佐世保市万津町3番5号 3階2号室 T: 0956-24-4003 F: 0956-24-4003

～ 以下、長崎大学の説明資料より抜粋 ～

長崎大学では、文部科学省大学改革推進事業「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」に申請した「学生が自ら育む人間関係力醸成プログラム」が採択され、今年度から4年間このプログラムを実施していくこととなりました。

- プログラム名 -

新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム

- 事業名称 -

学生が自ら育む人間関係力醸成プログラム

- プログラムの概要 -

長崎はその昔から、全国から若者が^{いしゅう}蟻集して勉学に励み、町の人々も彼らを温かく迎えた。すなわち、長崎は町全体が学校であり、若者を育てた。21世紀の今、長崎の人々、長崎県・長崎市、長崎大学が協働して、「学生人間関係力」を育てる。

長崎には「おくんち」を始め、数多の伝統ある地域行事がある。しかし、その行事は準備期間も含め約6ヶ月を要し、かつ若年者が不足しているため、地域伝統行事の維持が危ぶまれている。

本プログラムは、「学生顧客主義」の標語の下で、本学学生が地域伝統行事に参加して、その維持に力を尽くしてきた町の人々や豊富な知識と経験を持つ市民からなる「長崎大学応援団」の指導・連携・協力のもとに、昔の町内の若者頭的な役割を果たせるよう「やってみゆーでスク」を組織して取り組むもので、地域の古老、指導者、子供たちと祭りの企画・準備等により、学生の「人間関係力」の醸成と、地域行事の活性化・リニューアルが期待される。

- 事業の目的・必要性 -

学生の休・退学・留年・不登校の対策が早急に対応すべき学生支援の課題となっている。この対策の一環として行った企業関係者へのアンケートは、リーダーシップ、協調性、積極性等の人間関係力の醸成を求める結果となっている。これらの事項は、**本学に限らず、社会との接触機会の少ない現代の学生に不足しがちな事項**であり、これらの欠如が、休・退学・留年・不登校の背景にあると考えられる。

このような観点から、本学では、学生自身が学生支援活動に加わるキャンパスライフ活性化（ピア・サポート制度、夢募集、就職活動に関する学生の自主企画等）に取り組み、学生の人間関係力を醸成すると共に、これらを通じた休・退学・留年・不登校の対策も進めてきた。

本事業では、学生と大学が協働する学生支援体制に加えて、地域の力を活用した支援体制を構築する。すなわち、大学・地域が協働して学生の自主的活動を支援し、一層の**キャンパスライフの活性化を推進する体制を整備**し、学生の**人間関係力を醸成する**と共に、併せて**地域の活性化にも寄与する**ことを目的とする。

プログラムでは、学生が地域伝統行事に参加して、その維持に力を尽くしてきた町の人々の指導・連携・協力のもとに、昔の町内の若者頭的な役割を果たす。

地域の古老、指導者、子供たちと祭りの企画・準備、パフォーマンス参加などにより、学生の「人間関係力（コミュニケーション能力、リーダーシップ、協調性、行動力など）」の醸成と、地域行事の活性化・リニューアルが期待される。

その為に、豊富な知識と経験を持つ一般市民からなる「長崎大学応援団」を結成するとともに、専任教員、コミュニティー・ライフ・アドバイザーを配置し、総合的支援体制を整える。

さらに、キャンパスライフ活性化支援のためのワンストップセンターの役割を果たす「やってみゅーでスク」を組織する。「やってみゅーでスク」には上記の学生支援スタッフが所属し、長崎大学の全学生を対象に支援を提供する。

- ・ 行事等への参加について支援を希望する学生は、デスクに登録する。
- ・ 「やってみゅーでスク」では2階層の学生支援を行う。
 - A. 地域行事参加型及び企画・提案型の学生の自立的活動支援を通じた人間関係力醸成の直接的支援
 - B. 「Aの支援」を支えると共に、学生を「Aの支援」に誘導し、さらには、「Aの支援」の成果を就職活動等の目に見える形の成果として具現化させる間接支援（人間関係力醸成包括支援）

これらの支援を有機的に結合させることにより総合的な支援体制を構築することが、本補助事業の目的である。

～以上、長崎大学の説明資料より抜粋

【ニュースリリースに関する問合せ先】
株式会社亀山電機 経営情報システム部
TEL：095-832-4330（代表）

www.kameyama-grp.co.jp

本 社 / 〒850-0046 長崎県長崎市幸町2番17号 梅村組ビル3F T:095-832-4330 F:095-832-4331
東京営業所 / 〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目10番2号 長崎県東京産業支援センター T:03-3353-0554 F:03-3353-0554
佐世保事業所 / 〒857-0877 長崎県佐世保市万津町3番5号 3階2号室 T:0956-24-4003 F:0956-24-4003

PUB07-ニュースリリース-011-00-00